

発明の名称	メモリ素子、メモリセル、及びメモリセルアレイ(特許第 5201616 号)	
学内発明者	保坂 純男(元理工学府) 曾根 逸人(理工学府) 尹 友(理工学府)	
技術分野	半導体素子	IP18-055
発明の概要	確実に多値記録を行うことが可能な新規な相変化型の不揮発性メモリ素子、メモリセル、及びメモリセルアレイを提供することができる。	
説明図	<p>情報記録時のメモリ素子への印加電圧と検出電流との関係を示す線図。</p>	
ポイント	複数のメモリ部の相変化層がアモルファス相から結晶相に相転移したか否かによって、異なる抵抗値を正確に実現し、この抵抗値の相違を利用して多値記録を行う。このため、各相の体積率に応じて多値記録を行う従来の多値記録方法に比べ、抵抗値の変動が少なく、確実に多値記録を行うことができる。即ち、信頼性の高いメモリ素子を提供することができる。	

発明の名称	監視システム、監視制御方法、監視制御プログラム、及びネットワークシステム (特許第 4314369 号)	
学内発明者	藤井 雄作(理工学府) 他	
技術分野	画像監視システム	知財 3-2
発明の概要	監視画像を制御するものとして全世界の家庭に浸透しているPCをそのまま利用し、カメラを設置し、無料の監視制御プログラムをPCに導入するだけで、各家庭が個別の監視エリアで取得して所有・管理する情報及び他の監視エリアの情報をネットワーク間で有効に活用する。	
説明図	<p>使用状態説明図</p> <p>システム概要説明図</p>	
ポイント	各家庭が個別の監視エリアで取得して所有・管理する情報及び他の監視エリアの情報をネットワーク間で有効に活用することによりコミュニティ内の防犯を図ることができる高度な監視システム、監視制御方法、監視制御プログラム、及びネットワークシステムを提供する。	